

今までのように何本も必要ありません。 これ1本で クリーニングからポリッシングまで。



PMTCペーストの概念が変わります。「グラッシ」の使い方。



プラークを確認します。



2~3歯を1ブロックとして適量のペーストを塗布します。



用途に応じたカップやブラシを用いて行ったり来たりを30秒くらい繰り返します。



プラークが除去され歯面に艶ができるのが確認できました。



コンベイトウみたいにカド(結晶)がどんどん滑らかになるんです。

患者さんにやさしい。ハイジニストにもやさしい。

**DCプロフィーペースト
グラッシ**

グラッシは独自の研磨剤「パーライト*」を採用。そのため、今までのような何種類かのペーストを使用することなく、グラッシ1本でクリーニングからポリッシングまで行えます。

*真珠岩による天然シリカ





グラッシのこと、よく知ってもらいたい。

だからグラッシQ&A



グラッシとは？



フランス語で油絵の伝統的な技法のひとつ。薄く溶いた透明な油絵の具で、すでに乾いた絵の具層の上に薄く塗ること。「輝きと深みを与える効果がある」ことからその名前がつきました。



なぜRDA21（相対的象牙質研磨効率）でステインが落ちるの？



今までの軽石が主成分であったプロフィーペーストは、象牙質を削る量をRDAという数値で表し、粒子の大きさ・硬さ・形状等で区別をしてきました。グラッシはパーライト（真珠岩）粒子が操作時間とともに変化するので、RDA数値がそのまま研磨効率には当てはまりません。コンペイトウのように尖った粒子の角でステインやバイオフィルムを除去し、徐々に粒子の角がとれ研磨されるので、歯面に艶が出てくるのです。



なぜ1本でクリーニングからポリッキングまでできるの？



今までのプロフィーペーストの研磨材は軽石（主に二酸化珪素）が主成分でした。グラッシはパーライト（真珠岩）が主成分です。パーライトの特徴として、初めは角が比較的尖っているコンペイトウのような粒子ですが、研磨すると徐々に角が丸まっています。グラッシはクリーニングとポリッキングが1本でできることが、今までのペーストと異なる点です。



粒子の顕微鏡写真 1 μm



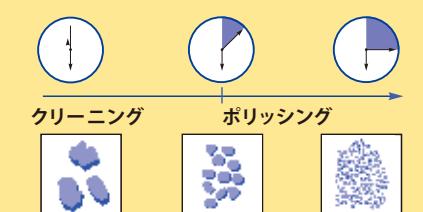
グラッシはどうやって使うの？



2~3歯を往復するように操作することでクリーニングからポリッキングに移行します。「数本使い分けるのは大変！」「どのペーストを使おうか？」と迷うことはありません。在庫も軽減！お悩みも一挙に解決です。

※途中でペーストは継ぎ足しません。

※ステイン沈着・バイオフォルム付着の状態によって、プロフィーカップをご選択ください。



ペーストの粒子が細かく変化

●標準価格:2,750円(100g入) ●一般的名称:歯面研磨材 ●販売名:DCプロフィーペースト グラッシ ●届出番号:13B1X10405104700(一般)
●製造販売元:エンピクスタジャパン株式会社 東京都品川区北品川 4-7-35

※仕様および外観は製品改良等のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。●価格は2026年1月現在。消費税は含まれておりません。

無断転載禁止

●お問い合わせは下記まで

◎販売元:

株式会社 ヨシダ

〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9 TEL.0800-170-5541(コンタクトセンター) <https://www.yoshida-dental.co.jp>



(01)02747937009727

C01425/2026年1月/@20/改